

環境学習が始まりました

平成16年6月3日(木)快晴

田子町立田子中学校3年生の皆さんが総合的学習の一環として県境産業廃棄物不法投棄現場を見学しました。「県境再生未来へのメッセージ推進事業」は、田子町の小・中・高等学校の生徒を対象に県境不法投棄現場の見学を中心とした環境教育の場を提供するもので、青森県が平成16年度から始めた事業です。

見学第1日目、3クラス86名がクラス毎に分かれて、県境再生対策室職員の案内で町役場職員や住民代表が見守る中、青森県側、岩手県側を約1時間かけて見て回りました。

見学の最後に、県から「廃棄物撤去後の現場の再生について皆さんも一緒に考えて行きましょう」「環境問題、廃棄物処理や土木技術など現場を見て感じたことを将来の進路を考える上で役立てて欲しい」といったお願いをしました。

6月から7月にかけて、田子町内の田子、清水頭、上郷の各小学校の高学年、田子中学校、田子高校の環境学習を行っているグループなどが現場を見学し、それぞれの学習の成果をまとめて、秋には合同発表会が開かれる予定です。



現場案内担当者を紹介



水処理の方法を聞く



県産材の水路の前で



田子ケーブルTVの取材に答えて

「県境再生未来へのメッセージ推進事業」による現場見学の予定

6月 3日(木) 14:10 田子中学校 3年 88人
6月24日(木) 14:10 田子中学校 2年 87人
6月25日(金) 9:45 清水頭小学校 5・6年 15人
 上郷小学校 5・6年 14人 計29人
7月 1日(木) 10:30 田子小学校 4年 50人
7月 2日(金) 10:30 田子小学校 5年 53人
7月 8日(木) 14:10 田子中学校 1年 87人

田子高等学校の日程は未定です。

悪天候等によって予定を変更する場合があります。